

これから内科で開業を目指す先生方に

日本臨床内科医会

泉岡 利於

私は、ちょうど2000年の秋に開業をしました。父は1960年から開業をしておりその後を継承する形で始まりました。当時父は高齢で患者さんの数は本当に少なくなっておりまた診療所も木造二階建ての父の開業当時の診療所でした。当時私は、大学病院の循環器内科に所属しており外来は循環器の専門外来しかしておりませんでした。父は、小児科から内科全般を診療しておりました。私が開業する時に専門外来で通すのか父の意思を継承するのか迷いました。ただ、父を尊敬して後を継ぐことを決意した私にとっては父の意思を継承しつつ自分なりの診療スタイルを構築できればと思いました。非常にクラシカルな診療所です。まずは診察券の手作りの作成（実は父の時代は診察券すらありませんでした）、ホームページの導入、電子カルテへの移行を始めました。ホームページには、どのような患者さんに来てもらいたいのか keyword を入れてSEO対策を行いました。かかりつけ医として電子カルテの導入は不可欠ではないかと考えました。開業してから父の患者さんへのアンケート調査でなぜ当院に通院するかの理由にカルテの5年保存義務に関わらず自身の体を長期にわたりわかってきていると言う理由が一番多かったです。父は、カルテを開院から保存はしていたものの倉庫に入っておりすぐに閲覧できるものではありませんでした。そこで2001年春から電子カルテを導入して患者さんのデータをできるだけデジタル化して保存することに心がけました。紹介状や紹介状の返事、当院で行った検査を全てデジタル化して何年経ってもすぐに引き出せるように行いました。今では多くの診療所がされていることですが当時は比較的まれでした。

私は、父の代から医師会に所属しており私が開業して約半年後の2001年春から地区医師会の理事になることができました。また数年後には大阪府内科医会に入会させていただき理事にも就任させていただきました。医師会では地域の診療所の先生方との交流に加え他職種の方々との連携をすることができました。内科医会は、私の循環器以外の最新の医療について学ぶことができる上、年に一回行われる日本臨床内科医会医学会では日頃の臨床でまとめたデータなどを発表したり様々な角度から勉強することができます。日本臨床内科医会では学術委員（循環器班）に入れていただき日本の各地の先生と座談会などで討論することができ勉強になる上アンケート調査など行い実地医科の医療を知ることができました。以上が開業してからこれまでで行ってきたことを述べさせていただきましたが、これから開業される先生に少しでもわかりやすいように下記に簡単に列挙させていただきました。

- 1) 自分の医療スタイルをどうするか？ご自身の専門分野や興味のある分野に特化した診療所を築くかジェネラルな医療スタイルを築くか。
- 2) ホームページやデジタル化の充実。できればホームページにご自身の診療スタイルや

精神を入れてご自身が目指すような患者がより多く来院されるように工夫をされるのが良いと思います。また、SEO対策と言ってサーチエンジンに検索されやすいような工夫も必要かと考えます。

- 3) 医師会や内科医会、日本臨床内科医会に入会することにより自分のテリトリー外の医師や他職種の方々と連携することにより継続した高度な医療を保つことができるようになる。

開業となると多くの場合医師は一人でされることが多いと思います。これまでの病院勤めとは違い様々なことを一人でしていくことが多いと思います。当初非常に不安になることが多いと思います。その中で自身の方向性をしっかり保つことと医師会や内科医会を通じて交流を持つことが安心感につながると思います。頑張ってください医師会や内科医会に気軽にご相談されれば良いと考えます。